

越生町猿岩林道 四寸道の岩場

2018.11.1 rctK

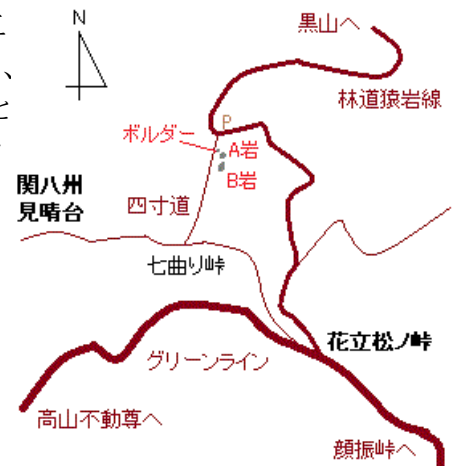
帰京後、ちょっとボルダーに出かけた程度であったため、どこか身体の調整のために登れる場所はないかと思っていたところ、以前越生の黒山から花立松ノ峠へ抜ける林道の途中にちょっとしたチャートの岩場があったのを思い出した。さほど大きな岩ではなく、小さな岩が幾つかあったような記憶しかなかったが、取り敢えず行って見て、面白そうならトップロープでもいいので、遊んで来ようと思って出かけた。

行ってみると、10m弱のフェイスが2つと、小さなボルダーが一つあり、見た目はしっかりした岩で面白そうに見えた。しかしトップロープをかけ、いざトライしてみると見た目以上に脆いところが多く、特にB岩はトライ毎にホールドが欠けてしまうため、上から下降して大方の浮石を落とした。

まだまだ脆い部分はあるが、トップロープで遊ぶには十分と思える感じなので、特にお勧めという岩場ではないが、林道から至近距離にあり、初級者位までなら十分遊べ、クライミングの練習になると思われるので、ここに紹介することにした。

なお、岩場にアンカー等は見られなかったが、林道から近くて、見た目はきれいだったので、以前トライされた方がいるかもしれないことを付け加えておきたい。上の桎をアンカーにするので、長めのロープスリングがあるとトップロープのセットに便利である。

アクセスは、車利用で、越生町黒山の北ヶ谷戸橋から日照水、花立松ノ峠方面の猿岩林道に入るか、またはグリーンラインの花立松ノ峠から猿岩林道に入る。位置的には花立松ノ峠から1km程のところであるが、現在はあまり歩かれなくなった四寸道コースの入り口から50m程入った沢沿いにこの岩場がある。車はは入口の反対側に数台停められるスペースがある。



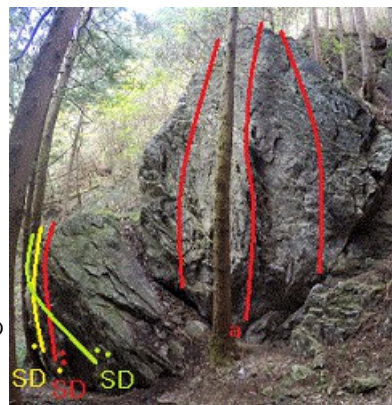
《ルート・課題紹介》

●ボルダー

A岩の手前にあるボルダー。易しいが下地が良く、いろいろ限定すれば楽しめる。3本ほど課題を設定した。

●A岩

易しいがホールドの向きが斜めなので、重心移動の練習になる。赤aのラインは5.8程度。



左:ボルダー&A岩 右:B岩



●B岩

見た目より大分脆く、何度もホールド欠損があった。ある程度落ち着いたが、今後も可能性あり。赤bは5.11a、赤cは5.11b、赤dは5.10程度。赤cがムーヴ的には面白い。